

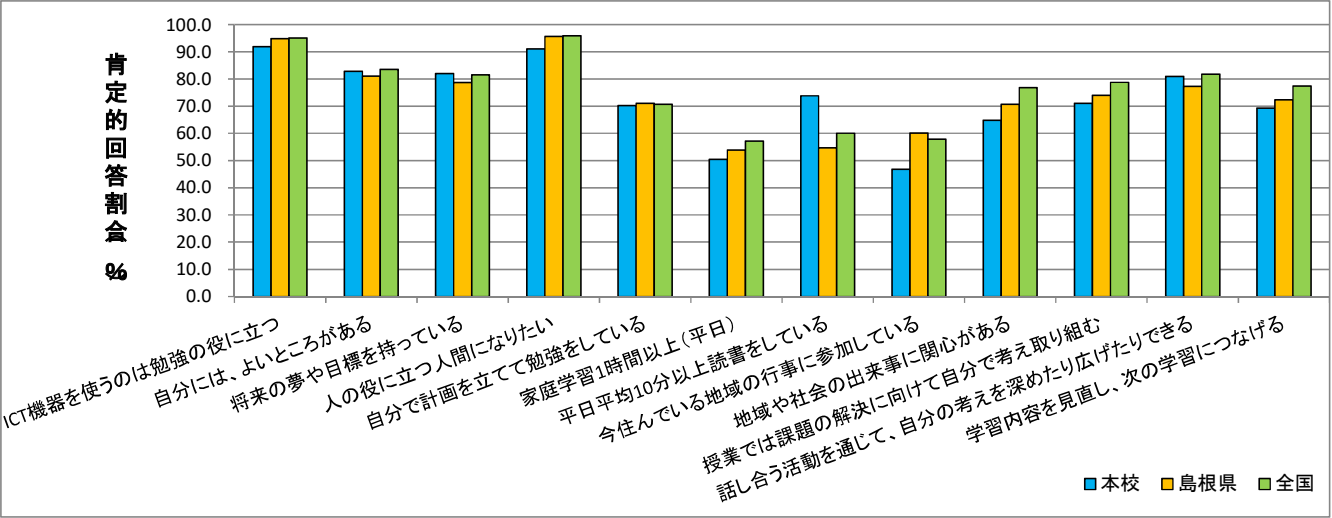
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
国語	○日常よく使われる敬語を理解し、使用すること。 ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ●目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。 ●必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心をとらえること。	・書き表し方の工夫に結びつけるために、自分の考えを文章にまとめる際に、モデルとなる文章を提示し、それを参考にして書いたり、書いた文章の相互評価を行い、よさを見つけたりする。
算数	○式が示された乗法の計算を正しくすること。 ●加法と乗法の混同した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすること。 ●伴って変わる2つの数量の関係について考察すること。	・思考力や表現力を高めるために、問題の場面を式に表したときに、自分の考えを説明する活動や、友達の表した式からどのように考えたのかを考察する活動を取り入れる。

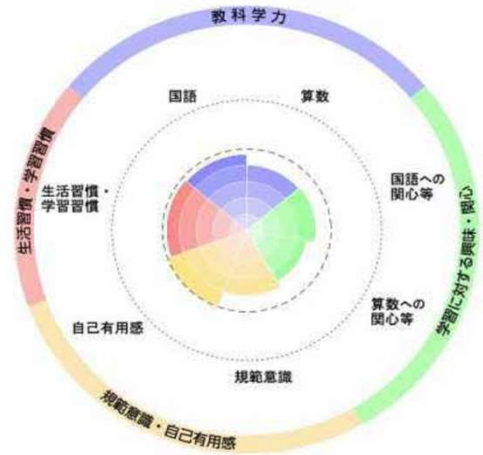
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対 策(・)
質問紙	○学習計画・家庭学習時間・読書についての肯定的な回答が多く、学習につながる力が身に付いていること。 ○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりできると回答した割合が高く、授業の中で意見を交流する機会が深い学びにつながっていること。 ●地域の行事への参加や地域や社会への関心が低いこと。	・朝読書や漢字計算会など学校全体で取り組んでいる活動を継続し、基礎基本の充実を図る。 ・生活科や総合的な学習の時間において、身近な地域のよさについてふれたり、地域課題の解決に向けた活動を取り入れたりすることで、地域や社会への関心を高める。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・話し合いによる合意形成を図り協働して実践活動をする楽しさを味わい、自己肯定感や社会貢献への意欲を高めるために、特別活動の充実を図る。
- ・学校全体で対話のある授業の展開の推進を行ったりや全校で統一した黒板の表示物を用いたりすることで、児童の学びやすさを保障する。

【受検者数】
107 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。